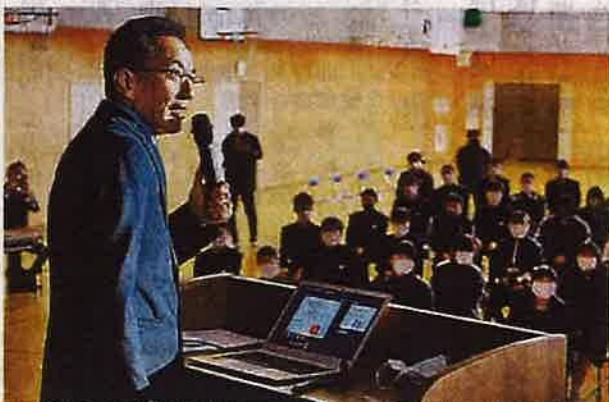


AED 有効活用を RC、坂井中で講演会



生徒たちを前に講演する田中さん＝坂井市坂井中学校で

福井フェニックススローラークリークラブは四日、「救える命、勇気を持って救命活動を」と銘打って、坂井市坂井中学校で自動体外式除細動器（AED）の有効活用をテーマにした講演会を開いた。

福井市立新世代育成基金奉仕事業で、二年生百一十人が体育館に集まつた。竹内順子会長が「倒れてい

る人を前に、完璧でなくともいいので行動できるようになつてほしい」とあいさつ。生徒代表に自録を手渡し液晶プロジェクターを寄贈した。

福井市の医師で同クラブ会員の田中義孝さんが、このプロジェクトを使って講演した。田中さんはAEDや心臓マッサージにより命が助かった国内外の事例

を紹介した後、マッサージのやり方やAEDの使用法を説明。「大切なのは倒れている人を救うために自分ができる」ことを行うこと

止で突然死している現状を

説明。AEDの使い方についてはパット同士が触れ合

わないなど注意点を挙げながら、「大切なのは自分が

できる」ということを行つこと

と締めくくった。

講演会に先立ち、同RC

の竹内順子会長ら7人が同

校を訪れ、液晶プロジェク

ター1台を寄贈した。今回

の講演の様子をDVD化

し、県内各校に配る予定。

救命活動の意義などについて学ぶ生徒たち=4日、坂井市坂井中



救命活動の意義 坂井中生に講演

福井フェニックスRC

勇気を持って救命活動を行えるように、坂井市坂

井中で4日、自動体外式除

細動器（AED）の活用に

関する講演会が開かれた。

2年生約120人がAED

の使い方や応急手当の重

要性を学んだ。

日「これから応急手当を身につけておきましょう」と締めくくった。（松田士郎）

福井フェニックススローラー

（東村淳悟）